

一人一日40gのごみを減らそう

～今日から始める4R運動～



28年度の一人一日当たりのごみ排出量は761g。市内のごみ排出量は、5万4,475tで、前年度から約363t減りました。市では、32年度までに一人当たりさらに一日40g減量することを目標にしています。市民、事業者、行政が連携して4R運動に取り組み、ごみの減量と資源化を進めましょう。

この特集のお問い合わせは
クリーン推進課 483-1151(代表)

4R運動とは

①Refuse (リフューズ) ②Reduce (リデュース)
③Reuse (リユース) ④Recycle (リサイクル) の4つの頭文字(R)をとった運動のことです。ごみを減らす効果が高い順に①～④となります。

① Refuse

リフューズ: 断る

ごみになるものは事前に断りましょう。

■実践例

- 買い物はマイバッグなどを持参し、レジ袋や過剰・不要な包装は断る
- コンビニでもらえるお箸やスプーンをもらわない
- 不要なものは買わない



② Reduce

リデュース: 減らす

ごみを減らしましょう。

■実践例

- 洗剤やシャンプーなどは詰め替え商品を買う
- 生ごみの水をきる
- 生ごみたい肥化容器などを活用する
- 食品ロスを減らす



生ごみたい肥化容器と生ごみ処理機の利用を

生ごみたい肥化容器は、微生物や菌の力で生ごみを分解し、たい肥にします。価格は、2,000～5,000円程度です。直接地面に設置し、生ごみを投入するコンポスト容器は、たい肥になるまでに数か月かかりますが、経費も安く管理も簡単です。密閉式容器は、発酵促進剤(EM菌)を使って密閉した状態で微生物の発酵を利用して、生ごみを分解できるので、臭いも気になら

ごみ減量イメージ



マイナス



「一人一日当たりのごみの排出量」は「リンゴ3個分(761g)」程度です。毎日「リンゴ1/6個分(約40g)」程度の重さを減らせば目標を達成することができます。

ずに家の中で使用できます。1～2週間程度発酵させた後、土に混ぜてたい肥にします。

電気式生ごみ処理機の価格は、4万～6万円程度です。臭いが少なく、コンパクトなものが多いため台所にも設置できます。処理時間は1kgあたり2～8時間です。

■たい肥化容器の購入費用を一部補助

市内在住の人が対象です。希望する人は、購入前に申請してください。

【対象】 ①たい肥化容器…1基の購入価格(税抜き)の6割とし、3,000円が限度。同一世帯2基まで
②電気式生ごみ処理機…1基の購入価格(税抜き)の6割とし、2万円が限度。同一世帯1基まで

食品ロスを減らしましょう

まだ食べられるのに廃棄される食べ物のことを食品ロスといいます。日本では26年度推計で約621万t発生しています。これは、国民全員が毎日ごはんを一杯ずつ捨てているのと同じくらいの量で世界の食糧援助量約320万tの約2倍の量になります。

食品ロスを減らすために、買い物に行く前には冷蔵庫をチェックしましょう。重複して買うことを防げます。賞味



期限や消費期限の確認を定期的に行うことも大切です。外食するときには食べきれる量を注文するようにします。備蓄している食品の計画的な入れ替えも忘れずに。

ごみ減量学習会

自治会などに職員が出向き、ごみの分別や減量化の学習会を行っています。

希望する団体はクリーン推進課までお問い合わせください。



▲正しいごみの分別の仕方などを学びます

■学習会の28年度実績

団体	実施回数	参加人数
小学校	18回	1,650人
自治会	3回	95人
その他	1回	85人
合計	22回	1,830人

広告